

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和4年3月11日
 独立行政法人福祉医療機構
 経営サポートセンター長 坪井 七夫
 経営サポートセンター コンサルティンググループ
 グループリーダー 菅野 雅之
 担当 中平 (電話) 03-3438-0236
 (FAX) 03-3438-0371

2020年度（令和2年度）決算 障害福祉サービス《児童系サービス》 の経営分析参考指標の概要について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2020年度の障害福祉サービス《児童系サービス》の経営分析参考指標の概要について、公表いたします。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiqa-tabid-1976/>

1. 調査の概要

■調査時点	毎年1回（決算データ）		
■集計施設	児童発達支援	児童発達支援センター	143 施設
		児童発達支援センター以外	269 施設
	放課後等デイサービス		1,017 施設
■調査目的	機構融資先の債権管理の一環		

※経営分析参考指標（2020年度決算分）（有料）の販売については、現在予約申込受付中です。

2. 2020年度決算の概要

＜児童発達支援＞

- 児童発達支援センターの利用率は前年度より0.3ポイント上昇の85.6%、利用者1人1日当たりサービス活動収益は前年度より355円上昇の15,358円となった。サービス活動収益対人件費率は前年度より0.1ポイント上昇の73.0%となり、サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は前年度より1.2ポイント低下の7.2%となった。
- 児童発達支援センター以外の利用率は前年度より3.9ポイント低下の76.7%、利用者1人1日当たりサービス活動収益は前年度より1,675円上昇の15,663円となった。サービス活動収益対人件費率は前年度より3.0ポイント低下の68.6%、サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は前年度より1.3ポイント低下の9.3%となった。

＜放課後等デイサービス＞

- 放課後等デイサービスのサービス活動収益対サービス活動増減差額比率は前年度より4.5ポイント上昇の8.8%となった。これは、利用者1人1日当たりサービス活動収益が前年度より1,144円上昇したことが主因である。なお、サービス活動収益対人件費率は前年度より8.4ポイント低下の67.6%となった。